

平成30年度「長久手市役所の仕事」通知表”の作成
 ～長久手市行政評価・外部評価～③（平成30年7月31日）開催概要

開催概要	
会議等の名称	平成30年度行政評価・外部評価③ 「巡回バス運行事業」【安心安全課】
開催日時	平成30年7月31日（火） 午前9時35分から午前10時35分まで
開催場所	市役所西庁舎2階 第7・8会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 石橋健一、江頭隆行、山口秋男 ・外部評価委員 瀧尾侑里、市岡紗理奈 <担当課> 暮らし文化部長 加藤正純、安心安全課長 南谷 学、同課課長補佐 山際裕行 <事務局> 総務部次長 浦川 正、行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉剛、同課主任 加藤優作
傍聴者人数	1人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・Nーバスは、なくてはならないものであり、交通弱者や免許証返納などを考慮して、持続性のある取組をやってもらいたい。 ・予算はかかっているが、続けてほしい。 ・利用頻度については、天候等も含めて要因を検討すること。 ・年末年始の試行運行を続けてほしい。 ・バス停は市内全域にわたっており、市内公共交通空白地帯をほぼなくしたことは評価できる。 ・量的なサービスはほぼ達成できたと感じるため、次は質的なサービスの向上に取り組んでほしい。 ・利用していない人が利用できるようにすることが重要で、利用していない人がなぜ利用していないかを調査すること。 ・費用が大きくても、市民にサービスを提供し、市民の満足度が高いため、アクセプタブル（受け入れられる）と言ってよい。サービ
-------------	--

	<p>スの提供を市民がどれくらい受けているかを説明すればよく、単にコストカットするだけが方策ではない。サービスを高めて、この事業は必要であると説明することができればよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の接続について、他の事業者と接続性のあるものを作れば、よりよいサービスが提供できると思う。接続の関係がよくなると、満足度も上がると思う。 ・ダイヤ構成については、市の社会背景と満足度を見比べながら検討するとよい。 ・費用負担が大きいと思われる背景には、評価基準が利用者だけになっていることが要因である。満足度を含めた評価基準により評価するとよい。B票の評価で妥当性は「3」ではなく「4」とすること。 ・一方で、受益者負担を考えてもよい。 ・利用者の約8割が無料であれば、税金で運営されていることを丁寧に説明する必要がある。そのため、受益者負担の話をする必要はある。将来的な課題であるので、検討すること。
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(よい計画をつくり) 市民の満足度をあげてほしい。 ・税金を使っていることに納得するサービスの提供をし、説明も行ってほしい。 ・受益者負担についても考慮し、事業を推進してほしい。
---------------	--